

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月~~18~~<sup>23</sup>日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県佐伯市常盤南町8番33号

氏 名 谷川建設工業株式会社

代表取締役社長 谷川 憲

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0972-22-2601



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	谷川建設工業株式会社
事業場の所在地	大分県佐伯市常盤南町8番33号
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	特定建設業
② 事業の規模	元請完成工事高 ￥2,524,477,000-
③ 従業員数	63人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート殻・アスファルト殻</li> <li>再生利用業者に委託して、再生砕石として再資源化。</li> <li>・その他の廃棄物</li> <li>収集運搬業者及び中間処理業者及び、最終処分場へ運搬・破碎・選別、再利用、埋立処分</li> </ul>



(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(昨年度文章まま)平成28年6月7日 産業廃棄物処理業廃止届出書 提出

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(平成31年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	陶磁器・ガラス・くず	木くず	金属くず	プラスチック類	繊維くず
	排出量	2915.4t	12.1t	1221.5t	1.7t	15.6t	0.01t
	産業廃棄物の種類	廃棄物 石綿含有産業	混合(安定)	混合(管理)	建設汚泥	廃石綿	(生)建設汚泥 コンスラッジ
	排出量	2.0t	1.4t	28.1t	0.3t	0.8t	276.2t
(これまでに実施した取組) 廃棄物の分別を心がけ、リサイクルを出来るだけ進めて、廃棄物の減量化を進めてきた。							
② 計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類	陶磁器・ガラス・くず	木くず	金属くず	プラスチック類	繊維くず
	排出量	3000t	20t	1000t	5t	15t	0t
	産業廃棄物の種類	廃棄物 石綿含有産業	混合(安定)	混合(管理)	建設汚泥	廃石綿	(生)建設汚泥 コンスラッジ
	排出量	2.0t	5.0t	30.0t	5.0t	5.0t	250.0t
(今後実施する予定の取組) 廃棄物の分別を心がけ、リサイクルを出来るだけ進めて、廃棄物の減量化を進めていく。							

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工事で発生する廃棄物に関しては、リサイクル可能な物は分類し、搬出し、その他は、最終処分(安定型)に処分している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の分担を心がけ、リサイクルを出来るだけ進めて、廃棄物の減量化を進めていきます。 特別管理産業廃棄物の管理を徹底します。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度 (平成31年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	0 t
	(これまでに実施した取組)  該当しない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	0 t
	(今後実施する予定の取組)  該当しない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度 (平成31年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	0 t
(これまでに実施した取組)  該当しない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	0 t
(今後実施する予定の取組)  該当しない			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	0 t
	(これまでに実施した取組) 該当しない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 該当しない		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
① 現状	【前年度（平成31年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	がれき類	陶磁器くず ガラス・	木くず	金属くず	廃プラスチック類	繊維くず	石棉含有産業廃棄物	混合(安定)	混合(管理)	建設汚泥	廃石棉	建設汚泥 (生コンスラッジ)	
	全処理委託量	2915.4	12.100	1221.5	1.7	15.6	0.01	2.0	1.4	28.1	0.3	0.8	276.2	
	優良認定処理業者への処理委託量	1.4	0.040	0.1	0.9	8.7	0	0	1.0	20.1	0	0	0	
	再生利用業者への処理委託量	2914.0	12.067	1221.4	0.8	6.9	0	0	0.3	8.0	0.3	0.8	276.2	
	認定熱回収業者への処理委託量													
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量													
(これまでに実施した取組) 再生利用については、再生利用業者に処理委託する。 廃棄物の分別を心がけて、リサイクルを可能な限り進めて、減量化を進めています。 可能な限り優良認定処理業者への処理委託を行っていきます。														

【目標】												
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず	木くず	金属くず	廃プラスチック類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	混合(安定)	混合(管理)	建設汚泥	廃石綿	建設汚泥 (生コンスラッジ)
全処理委託量	3000	20	1000	5.0	15	0	2.0	5.0	30	5.0	5.0	250
優良認定処理業者への 処理委託量	10	5	10	2.5	10	0	0	2.5	20	2.5	2.5	50
再生利用業者への 処理委託量	2990	15	990	2.5	5	0	0	2.5	10	2.5	2.5	200
認定熱回収業者への 処理委託量												
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量												
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>再生利用に関しては、再生利用業者に処理委託します。</p> <p>廃棄物の分別を心がけて、関連法規(廃棄物処理法・リサイクル法等)の趣旨を理解して、リサイクルを可能な限り進め、減量化を進めます。</p> <p>可能な限り優良認定処理業者への処理委託を行っていきます。</p> <p>また、特別管理産業廃棄物の管理を徹底します。</p>												
※ 事務 処理欄												

②  
計画